

海外大学との英語による協働教育をどう進めるか — 学内の好事例と今後の課題

日時：平成28年12月1日（木）13:00 - 17:15

場所：北海道大学クラーク会館講堂

対象：北海道大学および全国の高等教育機関の教職員で、特に英語による授業や海外との協働教育を担当する者および担当する予定の者

日/英
同時通訳あり

HUCIフォーラムの目的

北海道大学コミュニティーにおける対話を促すことにより、「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ（HUCI）」が目指す「10年後の姿」の達成をより確かなものにするための機会を提供する。

第2回HUCIフォーラムのねらい

海外との協働教育ならびに英語による教育の量的拡大と質的充実を図るために学内外の先駆的な実践事例から学び、改善につなげていく手がかりを得る。

↓参加申込はこちら↓

(交流会申込締切：11月22日)



<https://goo.gl/forms/YldiAvxs7bK1Doen2>
(メール: huci[at]oia.hokudai.ac.jp)

プログラム

- | | | |
|-------|--|-------------------------|
| 13:00 | 開会挨拶・来賓挨拶 | |
| 13:10 | HUCIが目指す海外との英語による協働教育 | 理事・副学長 上田一郎 |
| 13:30 | 教学IRから分かる学部教育の現状 | 高等教育推進機構 教授 細川敏幸 |
| 13:50 | 新渡戸スクールから学ぶ大学院教育における英語授業の意義 | 新渡戸スクール 副校長 山下正兼 |
| 14:20 | LSの事例について
北海道大学-シンガポール国立大学サマーコース「シンガポールと日本における水産物供給体制の比較」 | 水産科学研究院 教授 都木靖彰 |
| 14:40 | ESDキャンパスアジア・パシフィックプログラムの成果と展望 | 教育学研究院 教授 水野眞佐夫 |
| 15:00 | 休憩 | |
| 15:20 | 「北海道発“グローバル”文化研究」協働教育プログラム ～PMF国際音楽教育祭とアイヌ民族博物館で学ぶ～ | 文学研究科 教授 瀬名波栄潤、URA 森岡和子 |
| | ビデオメッセージ | |
| 15:40 | OECおよびCEEDによる国際協働教育プログラム支援の一例 | 工学研究院 教授 小林幸徳 |
| 16:00 | 休憩 | |
| 16:10 | 講演者によるパネルディスカッション | |
- 目的**
国際通用性を備えた教育を行うとはどういうことか北海道大学全体として問い直しつつ、全学的な課題を抽出する。これにより、全学で継続的に議論していく必要のある議題を明らかにする。
- | | | |
|-------|--|--|
| 17:15 | 閉会挨拶 | |
| 18:00 | 交流会（ 要事前申込み：申し込み締切日：11月22日（火） ）、参加費：4,000円、会場：エンレイソウ） | |